

アンケート調査の集計結果（第1回）について

秋涼の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、7月に実施しました保護者の皆様・児童へのアンケート、教職員の自己評価を集計した結果についてお知らせします。客観性・透明性を高めるために、地域住民の代表を中心とした学校関係者評価委員会を8月26日（火）に開催し、ご意見をいただきましたので、併せてお知らせします。

なお、項目は保護者・児童・教職員の評価結果から、学校の重点課題に関連するものを選んで比較したものです。数値は「とてもそう思う」「すこしそう思う」を合わせた肯定的な回答となっています。

【保護者・児童・教職員の3者の比較から】

1 進んで学ぶ、かしこい子」の育成のために

※「教職員」→取組に対する自己評価を含む

重 点 項 目	保護者	児 童	教職員
子供たちは、授業に意欲的に臨んでいる。	91%	98%	100%
子供たちは、自分の考えを持ち、それを書いたり説明したりしている。	80%	88%	90%
子供たちは、「読み・書き・計算」などの学習内容を理解している。	85%	89%	91%
子供たちは、進んで宿題や家庭学習に取り組んでいる。	72%	92%	100%
子供たちは、よく読書をしている。	42%	87%	96%

（保護者）○授業中への意欲と理解度、基礎学力の定着については、肯定的な評価が高かった。

▲読書習慣、家庭学習の定着については、肯定的な評価が低くなっている。

（児 童）○全ての項目に対して87%以上の肯定的な評価が得られている。保護者の評価とは乖離が見られる。

（教職員）○主体的な学びの促進、家庭学習の習慣化については評価が高い。

▲学びの深化（探究）、学習速度の差への対応、教員の授業力向上については、今後さらに工夫して取り組む必要がある。

【今後の改善点】

- ★引き続き楽しくわかる授業づくりを心掛け、基礎的な学力の定着を図りながら、思考力・表現力の向上に向けて、取り組んでいく。
- ★学校だけでなく家庭や生活の中でも、自分から計画的に学ぶ習慣を育てていきます。その方法の一つとして、家庭学習でタブレットを活用できるよう仕組みづくりを進めていく。
- ★朝読書や読み聞かせの充実を図り、読書の取り組みを児童の実態にあわせて工夫することで、様々な本の魅力に触れられるようにしていく。
- ★教員の授業力向上のため、校内研修を充実させる。

2 「思いやりのある、やさしい子」の育成のために

※「教職員」→取組に対する自己評価を含む

重 点 項 目	保護者	児 童	教職員
子供たちは、日々の生活の中で、自分からあいさつをしている。	77%	94%	100%
子供たちは、ありがとう、じょうずだね等のほかほか言葉を使っている。	86%	96%	100%
子供たちは、勝浦の伝統や文化、自然に愛着をもっている。	76%	91%	90%
子供たちは、学校のできごとや友達のことをよく話してくれる。	88%	80%	100%
子供たちは、悩みを家族や先生等の大人に相談している。	93%	99%	100%

（保護者）○悩みを大人に相談できる、家庭でのコミュニケーションが図れているに対して、肯定的な評価が高かった。

▲進んで挨拶、伝統文化や自然への愛着については、若干低い数値となっている。

（児 童）○挨拶や、友達に対する温かい声掛けは、肯定的な評価が高く、多くの児童が実践できたと回答している。教員等の支援について、児童に高く評価されている。

（教職員）○「挨拶の呼びかけや実践、「ほかほか言葉」の励行、いじめの早期発見に努めた等、肯定的な評価が高かった。

▲地域教材を活用できるよう、職員がもっと知ることが必要である。

【今後の改善点】

- ★学校生活を見ていると、きちんと挨拶ができない児童も見られる。挨拶がきちんとできるようにする取り組みについて、改めて子供と一緒に考え、実践していきたいと考える。
- ★挨拶は学校だけでなく、身に付けさせられるものではなく、家庭や地域での関わりも大きな力となる。朝、家を出るときや帰宅した時、ご近所の方と出会った時など、家庭や地域でも声を掛け合っていれば、子供たちがより自然に挨拶を身に身くことができると考える。ご協力をお願いしたい。
- ★職員で地域の文化や歴史を学ぶ機会をもち、学習に生かしていきます。

3 「健康でたくましい子」の育成のために

※「教職員」→取組に対する自己評価を含む

重 点 項 目	保護者	児 童	教職員
子供たちは、睡眠、朝食、洗顔、歯磨き等、健康に気を付けて生活している。	96%	89%	100%
子供たちは、運動に親しみ、体力の向上を目指して取り組んでいる。	88%	87%	95%
子供たちは、係の仕事等やるべきことは、最後までやりきる。	100%	96%	100%

(保護者) ○家庭で子供の頑張りを認め尊重しているに対して肯定的な評価が極めて高かった。

(児童) ○役割を責任感をもってやり抜くことに肯定的な評価が高かった。

(教職員) ○保護者、児童より高い肯定的評価をしている。

【今後の改善点】

- ★健康や生活習慣、食育に関わる指導は意識が高いので、ご家庭と連携・協力しながら今後も継続していく。また、感染症の流行については情報を収集し拡大防止に努める。
- ★体力向上に関しては、体育の授業を中心に教育活動全体を通して、運動の機会を取り入れ進めていく。また、業間マラソンにも注力し、目標をもって取り組ませる。

4 「地域とともに歩む学校づくり」のために

※「教職員」→取組に対する自己評価を含む

評 価 項 目	保護者	教職員
学校は、教育活動の様子を学校だより、ホームページ、学校公開等を通して積極的に伝えている。	94%	100%
学校は、家庭・地域と連携し、児童に交通指導や避難訓練、防犯教室等で安全意識を高めている。	94%	100%
学校は、学校評価や保護者、地域の意見・要望を教育活動に生かしている。	89%	96%

(保護者) ○どの項目も肯定的な評価が89%以上となった。

(教職員) ○今後も学校評価や保護者や地域の要望等を、教育活動に生かしていくように努めていく。

【今後の改善点】

- ★たよりやホームページを通して、児童の様子や学校の取組について分かりやすく発信していくことを心がけて、本校の取組についてご理解をいただき、連携して教育活動を進めていく。
- ★家庭や地域よりいただいたご意見やご要望を教育活動に生かしていく。
- ★防犯・防災の取組については、今後も子供たちの安全が守れるよう定期的に行っていく。さらに、学校で学んだことを家庭に持ち帰り、実際の場面を想定して話し合う機会を増やしていただければ、いざという時に安全に避難ができると考える。

【学校関係者評価委員の方々からの主なご意見】

※8月26日の学校関係者評価委員の会議で出されたご意見より

- 挨拶や読書については、学校だけでなく家庭での働きかけも絶対に必要である。
- 家に本があまりないのではないかな。家族も本を読まないのではないかな。
- 挨拶について、子供の周りの環境が昔とは違う。近所の人と、必ずしも顔見知りではない。コロナの影響もあるのだろう。
- タブレット端末の画面が小さいように思うが、もっと大きいほうが使いやすいのではないかな。
- 家庭学習にタブレット端末を使用するには、Wi-Fi環境を調査してからということであったが、市の補助等があるといい。
- 青少年相談員という立場で、さまざまな活動をとおして子供と関わっている。よく声をかけ、サポートしていく。

【保護者からのご意見と学校の取り組みについて】

自由記述につきましては、たくさんのご意見・ご要望をいただき、ありがとうございました。紙面の都合上、その全てを掲載することができないため、重点項目に関連するものだけ、掲載いたします。自由記述にいただいた貴重なご意見等は、学校として真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしてまいります。なお、改善が進まず不安な点がある場合は、直接学校へご相談ください。

1 進んで学ぶ、かしこい子」の育成に関連して

保護者からの意見・要望	学校の今後の取組等について
勝浦の学力が心配です。	本校では、全国学力・学習状況調査や、県標準学力検査の結果をもとに、特に課題が見られたところに重点を置いて指導を進めております。授業改善や個別の支援をととして、児童一人ひとりの学力の定着を図るとともに、基礎・基本の学力を確実に身に付けられるように取り組んでいます。例えば児童は、eライブラリー等を活用して、自分の苦手な学習に取り組んだり、朝自習に全校でドリル学習を進めたりしています。また、児童が安心してクラスで学べるよう、共感的な人間関係を育成することや、自己存在感を与えられるように学習中も意識して、授業を行っているところです。
水泳の授業でゴーグルの使用を禁止していることに、疑問を持っています。水が苦手な子供への指導が厳しく、心が折れてしまいました。自分は他県で、大学生コーチによる手厚い指導があり、水泳を楽しめた経験があります。	初回の授業でお子様がづらい思いをして、水への苦手意識が強くなってしまったようで、申し訳ございません。水泳の授業でゴーグルを使用しない理由としては、①水辺での安全行動の習得、②裸眼での水慣れの重要性、③道具への依存を避けるため、といったことが挙げられます。ただし、これは一律の禁止ではなく、必要に応じては、柔軟に対応することも可能です。大学生による指導につきましては、大学学長より、「指導はせず見守りだけ」という条件の下、支援の許可をいただいております。そのため、授業は特別非常勤講師と教員が中心となり、水泳指導をしているところです。今後は、水が苦手なお子さんに対しては、最初の段階から声かけや補助をより丁寧に行い、少しずつ自信を積み重ねられるようにしてまいります。授業の進め方や補助体制についても、教員間で共有し、工夫・改善してまいります。
水泳授業での指導者が少なく、安全面が心配です。大学生のコーチの活用を検討してほしいです。	水泳授業の安全管理につきましては、特別非常勤講師や教員、支援員や大学生等、大人4名が指導・監視を行うようにし、昨年度よりも監視体制の強化、安全指導の徹底を図ってきたところです。来年度も同様に進めてまいります。
家庭学習習慣の不足を懸念し、希望者に宿題を出してほしいです。	家庭学習の習慣づけは大切なことと考えております。学年、クラスによって若干異なりますが、宿題と自主学習という形で家庭学習を進めているクラスが多いです。「家庭学習のすすめ」を参考にして、子供たちは自主学習を進めておりますが、ご要望を受けて、希望する児童には家庭で取り組めるプリント等を用意することもできます。お声かけください。

2 「思いやりのある、やさしい子」の育成に関連して

保護者からの意見・要望	学校の今後の取組等について
相談等に親身に対応してくれて、心強く、子供も先生を信頼しています。	お子様が安心して過ごせるよう、これからも一人ひとりに寄り添った対応を心がけてまいります。
毎日、子供と一緒に登校して見守っていますが、こちらが声をかけても、元気に挨拶を返してくれる子供はほとんどいません。一年生で顔見知りの子はニコッと挨拶をしてくれますが、上級生の子供達は挨拶をしない子がほとんどで、それが当たり前という雰囲気が残念です。自分の子がそれが当たり前にならないように出来るだけ、一緒に登校し、挨拶を教えるよう心掛けています。	日々の見守りと挨拶の声かけ、ありがとうございます。ご指摘のとおり、学年が上がるにつれて、恥ずかしさや周囲の雰囲気から、挨拶をしなくなってしまう子供も見られます。挨拶は人とのつながりをつくる大切な第一歩であり、学校としても常に大事にしていきたい習慣と考えています。今後も、朝の会や道徳の授業、また生徒指導の場を通して、全学年で元気な挨拶ができるよう、声かけや指導を続けてまいります。保護者の皆さまにも、日々の実践でご協力いただけますと幸いです。
登校班の見送り中、地域の年配女性から「勝浦の子供は挨拶をしない」と指摘を受けた。女性は元気な挨拶を望んでいるが、知らない人への挨拶をためらう子供の気持ちも理解でき、複雑な心境です。地域の声として報告いたします。	地域の方からの貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。本校では、日頃より「気持ちのよい挨拶ができる子ども」をめざして指導しております。毎朝、校長が昇降口に立って挨拶したり、定期的に運営委員の児童が挨拶運動をしたりして、よりきちんと挨拶ができるように活動しているところです。しかし、なかなか徹底できていないのが現状です。さらに、初めて会う方や知らない方への挨拶については、子供によってはより恥ずかしさや不安を感じる場合があります。今後は、児童の安全面にも十分配慮しつつ、地域の皆さまとの温かい交流が生まれるよう、挨拶の場面や方法について、改めて学級・学校全体で確認し、指導を続けてまいります。また、地域の皆さまにも、子供たちが安心して挨拶できるよう、温かい声かけや見守りを、引き続きお願いできればと存じます。
友達から悪口を言われる。先生に相談しても改善されていないようです。	対応が十分でなく申し訳ありませんでした。相談しやすい職員にもお声かけください。
いつもありがとうございます。校庭の杭に固定されているロープが外れており、子供が足を引っ掛けて転がっていることがあり危険と感じています。	本校のグラウンドは大雨時に土が流出し、設置してある杭が露出・浮き上がってしまいます。ご指摘をいただき、杭やロープの状態について確認し、安全が確保できるよう早急に対応いたしました。今後も定期的に点検し、児童が安心して活動できる環境づくりに努めます。
子供が学校生活で悩んだ時に相談できるツールがあるといいと思います。直接言いにく	子供がすぐに相談できる環境として、現在以下のような取り組みをしています。①専門職の配置。スクールカウンセラー、心の相談員が定期的

い場合、相談しやすい先生や個別の部屋を用意して、いつでも気軽に行ける環境にしたいです。	に来校し、計画的に、時には飛び込みの相談にも対応しています。②「相談室」の設置。一目を気にせず、落ち着いて相談できる部屋があります。③相談ポストの設置。校内に2箇所、相談ポストを設置し、子供たちが気軽に悩みを相談できるようにしています。④アンケートの実施。「生活アンケート」を毎月行い、悩みを一人で抱えない取り組みを行っています。さらに、相談するハードルを下げるため、日常的に教員が「困ったらいつでもおいで」という雰囲気をつくっています。
近年の勝浦小学校の先生は以前より融通が利かず、細やかな配慮が感じられません。トラブル時は一方の意見だけで判断し、一方的な禁止措置をとるため、子どもが理由を理解できない。クラス間でルールが異なることも不満で、教育者として改善を求めます。	日頃の指導におきましては、安全確保と円滑な学級運営を目的としておりますが、一方的な対応と受け止められる事案があったことは真摯に受け止め、今後は状況確認や関係者双方の意見を丁寧に伺うよう努めてまいります。また、学級間におけるルールの相違についても、必要性を含め教職員間で十分に協議し、可能な限り一貫性のある指導に努めます。

3 「健康でたくましい子」の育成のために

保護者からの意見・要望	学校の今後の取組等について
陸上大会では、本人の希望種目を優先してほしいです。また、記録が良ければ4・5年生でも選手にしてほしいと思います。	お子様のやる気や努力を尊重し、希望する種目に挑戦できる機会をできる限り確保することは、私たちも大切だと考えております。また、6年生を中心に選考を行っているのは、最後の学年としての経験としてその機会を重視しているためですが、記録や適性が優れている4・5年生についても、これまで通り選考の対象とし、出場の可能性を広げてまいります。今後も、子供たちが意欲をもって練習・大会に臨めるよう、選考方法や種目割りにについて工夫を重ねてまいります。

4 「地域とともに歩む学校づくり」に関連して

保護者からの意見・要望	学校の今後の取組等について
毎日、子供と一緒に登校して見守っていますが、こちらが声をかけても、元気に挨拶を返してくれる子供はほとんどいません。一年生で顔見知りの子はニコッと挨拶をしてくれますが、上級生の子供達は挨拶をしない子がほとんどで、それが当たり前だという雰囲気が残念です。自分の子がそれが当たり前にならないように出来るだけ、一緒に登校し、挨拶を教えていくよう心掛けています。	日々の見守りと挨拶の声かけ、ありがとうございます。ご指摘のとおり、学年が上がるにつれて、恥ずかしさや周囲の雰囲気から、挨拶をしなくなってしまう子供も見られます。挨拶は人とのつながりをつくる大切な第一歩であり、学校としても常に大事にしていきたい習慣と考えています。今後も、朝の会や道徳の授業、また生徒指導の場を通して、全学年で元気な挨拶ができるよう、声かけや指導を続けてまいります。保護者の皆さまにも、日々の実践でご協力いただけますと幸いです。
引き渡し訓練を、運動会等、学校行事後に実施してほしいです。	引き渡し訓練を学校行事の後に実施する等のご提案ありがとうございます。運動会後の実施についても検討いたしました。終わる時間が正午を回ってしまうため、引き渡し訓練を行うことは困難と考え、今年度は9月5日に設定いたしました。安全面を第一に、実施しやすい日程について、引き続き検討してまいります。
昇降口の開錠時間の設定について、安全面の配慮は理解していますが、各家庭には、様々な事情があります。「開錠時間に合わせて登校するように」と一律に求められるのは難しい場合もあるため、少し柔軟な対応をご検討いただけるとありがたいです。安全対策と家庭の実情の両立をお願いしたく、見守り体制や校内待機の工夫なども視野に入れていただければと思います。	本校は登校班での登校を基本とし、集合時刻について登校完了時刻8時5分から逆算して、地区児童会で話し合いのうえ設定しています。職員の勤務開始時刻は8時5分ですが、バス利用児童の到着時刻を考慮し、安全確保のため開錠時刻を7時45分に設定しました。ご家庭の事情やお子様の登校状況にはさまざまな背景があることについても理解しております。一方で、安全面の確保や全児童の公平性を保つため、開錠時間は一律に設定せざるを得ない状況です。7月にも三重県の小学校で、早朝に学校に不審者が侵入した事件が起きたばかりで、大人の目が届かない学校で過ごすことは、安全面を考えると心配です。天候によっては、昇降口で待たせる等の対応をいたします。主旨をご理解のうえ、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

5 そのほか

家庭では子供の課外活動を責任をもって行っているため、学校でキュステのチラシを配布しないしてほしいです。配布数が多く、日程的に参加できない内容がほとんどで、子供もかわいそうです。年間教枚なら常識の範囲ですが、現在は過剰であり、公立小学校が定期的に配布するべきものではないです。必要なら家庭で取りに行くので、配布は中止してほしいと思います。	ご指摘の配付物につきましては、外部団体の案内であり、教育委員会の承認を得た上で配付しておりましたが、配付方法や回数について負担を感じられたとのことで、重く受け止めております。連絡帳でお知らせいただけましたら、今後申し出のあったご家庭について、外部団体からのお子様への配付を停止するようにいたします。
旧三日月ホテル前の市営駐車場が有料となり、利用方法が分かりませんでした。周辺に駐車する送迎車が多く、混雑や安全面が心配でした。最初の60分は無料等の情報を事前に周知するとよいと思います。	校外学習当日に、駐車場周辺が混雑し、安全面でご心配をおかけしました。市営駐車場は最初の60分は無料でご利用いただけますので、今後は事前に利用方法を周知し、安全な送迎にご協力いただけるよう努めます。
アンケートを良い試みと感じています。安心して子どもを通わせられるのは先生方のおかげなので、今後も学校の改善のために定期的な実施を希望します。	アンケートを定期的に行い、皆様からのご意見を参考にして、より良い学校づくりに努めてまいります。お子様が安心して通える学校であるよう、これからも心を込めて取り組んでまいります。